

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|-------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区城西地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員:5人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 医療法人社団 盈進会 | | 主任介護 支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 2人 | その他 |

テーマ：地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|---|-----------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 3回 | | 回 | |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 1回 | (第2回部会 開催時点) | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 3回 | | 回 | |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|-------------------------|---|---|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | 地域でケアマネジャーが活躍できる仕組みづくり。 | 今年度は2回介護支援専門員事業所連絡会を開催予定。企画担当を募り、割り振りができた。特定事業所の主マネが中心となり、事前打ち合わせを重ねている。企画担当者自ら意見を出すなど、主体的な関与あり。1回目の連絡会は10/10に地域資源を持ち寄りマッピング予定。数年ぶりに対面での開催で、参加者も多い。今後、主体的な取組として根付いていくために、連絡会の中で活動を振り返りながら方法を模索していく。 | ・地域資源のマッピングについては他の包括でも取り組んでいる。利用者によっては包括の圏域をまたいで介護保険サービス等を利用していることも多い。そのため、地域資源マップについて他の包括とも共有出来たらよい。 ・介護支援専門員事業所連絡会では、役割のすべてを包括が担うのではなく、ケアマネの主体性を促しながら運用することは非常に良い取り組みだと思う。 | |
| 2 | 認知症になっても生活しやすい環境整備の推進。 | ・チームオレンジ駒形では3回検討会開催。「誰もが暮らしやすい・駒形」を目指し、地域住民が主体的に関り、具体的な取組を検討中。継続的に我が町ごととして、地域で主体的な取組となるよう、事業を運営していく。 ・認知症カフェ連絡会は本年度からカフェ主体となっているものの、開催には至らず。開催に向け、継続的に声掛けを行っていく。 ・認知症サポーター養成講座については、自治会等で声掛けを行っている。チームオレンジ駒形とも連動し安倍川中学校で認知症サポーター養成の講座開催ができた。今後も広い世代に認知症の理解ができるよう、アプローチを行っていく。 | ・認知症カフェ連絡会は、認知症患者の居場所の確保や介護する家族の負担軽減にも繋がると思う。当事者や関係者等の情報共有の場にもなるため、今後も開催を目指して調整を継続していただきたい。 | |
| 3 | | | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|--------------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市 葵区 (安西番町) 地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員: 5 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 静和会 | | 主任介護 支援専門員 | 2人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ: 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

| | | | | |
|--------------|-------------------------------|----|-----------------|-------------------|
| 【地域ケア会議実施状況】 | ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 |
| | ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 0回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| | ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 1回 | | 回 |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|------------------------------|---|--|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 関係機関との連携強化を図る。 | <p><進捗状況></p> <p>①圏域のケアマネジャーとの連携 年度初めに各事業所を訪問し課題抽出した結果と、圏域内の事例検討会での課題を受け、身元保証に関する勉強会を実施。今後は番町民児協とケアマネジャーの意見交換会を行う予定。</p> <p>②末広中学との連携 8月に職場体験を受け入れ、12月には福祉授業を行う予定。</p> <p>③地域のサービス事業所との連携 Sデーで講座を実施する際、地域のデイサービス事業所に声をかけ、協働した。</p> <p>④重層的支援体制整備事業との協働 包括より事例提供し、現在、アウトリーチ事業を活用した支援を展開している。</p> <p>⑤その他 生活支援コーディネーターと協力し、一番町地区での会議を計画中。</p> <p><課題> 今後はケアマネジャーと障害関係機関、地域住民とのネットワークができるよう働きかけていく。</p> | <p>①身元保証に関する問題は医療機関でも課題になっている。身内のいない方や家族関係が希薄な方が増えている印象を受ける。</p> <p>③地域には多くの介護保険事業所があると思うが、単体でサービス提供を行うより、包括に関わってもらうことで事業所同士の連携が促され、サービスの質の向上にも繋がると思うため、事業所にも積極的に加わってもらうよう働きかけていただきたい。</p> | | |
| 2 認知症への理解を深めるための啓発を地域に向けて行う。 | <p><進捗状況></p> <p>①一番町地区小中学生を対象に、年をとること(認知症も含めて)についての勉強会を企画、夏休みのランチ体験で高齢者と関わる機会を作った後、振り返りの機会を設けた。</p> <p>②末広中学生徒の職場体験の機会を活用して、中学生に認知症について啓発を行った。</p> <p>③番町地区の民生委員を対象に認知症の勉強会を実施した。</p> <p><課題> 今年度、小中学生とその親の世代への啓発に取り組み始めたが、まだ少数であるため、今後も引き続き若い世代への啓発を続けたい。</p> | <p>①②小中学生を対象とした認知症の勉強会を通して、その保護者への普及啓発にも繋がっている。認知症患者の身近な人が認知症の理解があり、よりよい接し方で対応することで、認知症患者の病状にもよい影響がある。</p> | | |
| 3 | | | | |

令和6年度 葵 区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|-------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区城東地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員:5.3人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 静岡市社会福祉協議会 | | 主任介護 支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 2人 | その他 |

テーマ: 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|-------------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 1回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 1回 | | 回 |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|--|---|---|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 ①高齢者の不適切な状況の早期発見、予防のための取り組み 安東地区S型デイサービス5か所と城内地区サロン7か所へのアウトリーチ活動を行う。 | 前期(社福)、後期(保健師)に分け全会場を年2回訪問している。 包括の広報誌を配り、啓蒙活動を行い前期は1サロン以外訪問を終えている。 高齢に伴い利用が難しくなった利用者が包括に相談に上がり認知症の早期発見、重度化予防に繋がっている。 | ・S型デイサービス等、地域の集まり等に行けない、外出が困難な高齢者へのアプローチが課題になると思う。そういった視点でみると重点項目③の進捗状況・課題の民生委員とケアマネの顔合わせの会は、重点項目①の目的と重なる。 | | |
| 2 ②高齢者の権利擁護の周知活動 安東地区S型デイサービス5か所と城内地区サロン7か所、安東・中部民児協での権利擁護及び虐待防止について啓発を行う。 | 11月に虐待のセミナーを予定していたが講師の関係で2月に変更となる。 S型・サロン11会場にて消費者被害のチラシを配布し注意喚起を行った。民児協にて身元保証について知りたいと要望があり、8/1安東、10/11中部で実施。反響があり地域住民に向けても、11/13ほっとカフェ～お気軽相談会～にて開催予定。 | ・高齢者の権利擁護と高齢者虐待は別々の問題とと思っていたが、非常に関連が深いということがわかった。 | | |
| 3 ③認知症を正しく理解し不安や排除のない地域づくりの推進 地域ケア会議を開催し、医療介護の連携を図り関係者間の顔の見える関係作りを行う。 | 住み慣れた地域で安心して暮らしている為、地域との繋がりががりが築ける様、6/6民生委員とCMの顔合わせの会を実施。利用者の日頃の様子をCMが民生委員に聞く事ができた。 地域住民の認知症理解の為、6/27自宅でずっとミーティング開催。(安東10/24開催予定)また、11/13ほっとカフェ～お気軽相談会～を開催し、①認知症サポーター養成講座②身元保証③訪問看護④理学療法士によるリハビリ教室⑤薬剤師による痛みの講座を行う予定。 | ・民生委員とケアマネの顔合わせの会は、参加したケアマネから好評だったと意見を聞いている。 ・地域ケア会議における医療・介護の連携促進について、非常に重要だと考える。特に医師の協力が不可欠になるため、アプローチを継続してもらいたい。 ・認知症になっても地域で暮らせるよう、住民を巻き込みながら見守り活動を行うことが必要になっている。 | | |

| 令和6年度 | | 区地域包括支援センター運営部会 | | | | | | | |
|-------|------------------------|-----------------|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（伝馬町横内）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員： 5 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 静和会 | | 主任介護支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 2人 | その他 |

テーマ：地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|-------------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 1回 | | 回 |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 2回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 1回 | | 回 |

| 令和6年度重点項目 | | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
|-----------|---|--|--|----------|----------------|
| 1 | 圏域ケア会議の開催 現行の圏域ケア会議に加え、民生委員とケアマネ・事業所等を対象に虐待研修を開催する。また圏域の課題に対して、自治会・民生委員・医療関係者・介護の有識者等を集め、一緒に話し合う機会を持つ。 | <ul style="list-style-type: none"> 民生委員、ケアマネ対象の虐待研修を12/10に実施予定。 伝馬町小学区は自治会長・社協・民生委員・介護事業者などを対象に年度内に、横内小学区は地区社協と共催で自治会長、福祉委員、民生委員等と認知症をテーマに地域ケア会議を1/30予定で調整中。 圏域内GHと地域ケア会議にて認知症の理解普及活動について協議した。 | <ul style="list-style-type: none"> 圏域の4か所のグループホーム同士の関係づくりを目的とした地域ケア会議は、出席者が限定されてしまう傾向があるため、地域にも声を掛け、地域とグループホームが繋がる場になるとよい。 | | |
| 2 | 包括周知活動 地域包括支援センターの広報誌を発行やホームページやSMS上で包括の活動を知らせることに、地域住民へ地域包括を周知する。 | <ul style="list-style-type: none"> 広報誌は4月7月発行済。次回10月、1月の計4回発行を予定。 包括チラシを圏域内の医院・薬局・銀行・郵便局・お店などに配架を依頼した。 郵便局や銀行での出張相談会の開催や、サロン等での終活講座の開催などの協働を検討中。 民生委員不在地区の高齢者世帯に訪問によるアンケート調査を実施中。 S型デイ、認知症カフェに参加、周知活動を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> S型デイサービスと認知症カフェの違いについて、どちらも居場所づくりの目的がある。認知症カフェは対象をより具体的に、認知症に悩む高齢者やその家族が集まり相談や情報交換が行える。 | | |
| 3 | 地域づくり 存続が難しくなった自主グループに対し、生活支援コーディネーターと協力し健康増進や介護予防の活動を支援すると共に、自治会や社協と話し合い今後の方針を検討する。 地域資源つながりマップの活用状況をケアマネにアンケート調査すると共に新たな資源の把握や創設について関係者と協議を続けていく。 | <ul style="list-style-type: none"> 春日3丁目自主G、春日1丁目2丁目自主Gのイベントや活動内容に対する支援を実施。地域の参加者が減っている課題に対し、自治会・社協を巻き込み、ボランティアと話し合い、今後の活動支援内容を検討中。 宮前地区にて公民館を利用した自主サロンの立ち上げ支援を9/20に実施。 昨年度作成した地域資源つながりマップの評価やバージョンアップについて関係者にて話し合いを予定。 | <ul style="list-style-type: none"> 民生委員がいない地域で自主活動グループの参加者が減っている課題があるなかで、活動を支える支援者も減っている。そうした社会基盤で高齢者のみに焦点を絞ったサロンの立ち上げは難しいのではないかと。子育て世代や障害者等を含めた活動を社協と検討してはどうか。 | | |

| 令和6年度 | | 区地域包括支援センター運営部会 | | | | | | | |
|--|----------------------|-----------------|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市 葵区（城北）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員：7人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 駿府葵会 | | 主任介護支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 3人 | 保健師 看護師等 | 2人 | その他 |
| テーマ：地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題 | | | | | | | | | |
| 『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。 | | | | | | | | | |

【地域ケア会議実施状況】

| | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|-------------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 1回 | | 回 |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 2回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 回 | | 回 |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|--|---|--|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 地域課題の把握を目的とした地域ケア会議の開催に向けて準備をする。 今年度は準備期間ととらえ、各地区の民児協や地区社協の協力を得ながら進めていく。 | 麻機地区社協が今年度実施する住民全体へのアンケートのプロジェクトチームとして参加。調査項目の精査、集計と分析に関わり、社協とともに地域課題を把握していく。 | ・アンケートの実施時期は夏から秋で台風の時期になる。防災に関する内容もあるため台風を意識した回答になると予想される。今後、冬を想定したアンケート調査を実施し、比較するとよい。 ・自治会や民生委員、社協と協力して実施しているが、集計が大変だと思う。QRコードからアンケートフォームを活用すると回収・集計も効率化が図れる。 | | |
| 2 圏域内の他事業所・多職種との相互連携を深める。 千代田・長尾川・城北の3包括共催で介護保険と障害福祉サービスの併用についての研修会を企画している。 また、3包括合同で圏域内のグループホームネットワークの後方支援を行う。 | ・9/20 3包括共催の研修会を実施。静岡市障害者協会より講師を招き、障害福祉サービスの概要を学んだ。10/18に第2回目を予定している。 ・3包括圏域内のグループホームネットワークの後方支援として、サポーター養成講座の企画・実施に参加した。8/20に講座を実施した。 | ・障害と高齢、分野が代わると互いに状況がわからなくなる。今後も研修会の進捗について報告いただきたい。 ・グループホームの後方支援について、グループホーム職員が地域で認知症に関する普及啓発活動を実施することは、地域でグループホームが認識され、住民理解にも繋がる。ぜひ、推進していただきたい。 | | |
| 3 圏域内ケアマネジャーの介護と医療の連携の強化 主任ケアマネジャーを中心とした自主グループの支援を行う。 | ケアマネジャー支援の今年度内の研修の打ち合わせを7/23に実施。圏域内12名のケアマネジャーの参加があり、研修のテーマ、主任CM更新研修の要件等について話し合った。 次回打合せは令和7年1月頃を予定している。 | | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（千代田）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員： 6 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 静和会 | | 主任介護 支援専門員 | 2人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|---|-----------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 | |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 2回 | (第2回部会 開催時点) | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 1回 | | 回 | |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|--|--|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | <p>①防災をテーマとし、研修や地域住民に対して啓発活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月S型デイ5カ所に向向き、防災をテーマに注意喚起している。地震や台風もあり自分事として捉えやすい様子。 ・机上訓練(地震)を介護保険サービス事業所、自治会、民生委員、地区社協等を対象に実施。計74名が参加した。ワークの進め方に最初は戸惑いもあったが、各組織の動き方や課題が抽出できた。今後も定期的に行い連携構築を図っていく必要がある。 ・12月に地域防災訓練に参加予定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・机上訓練等で顔合わせは大事だが、発災時に包括として何ができて、何ができないかを整理して関係者に伝えていく必要がある。 ・場所によって高齢化率が低い地域もあるため、子育て世代も巻き込んでもらいたい。 | | |
| 2 | <p>②障害の支援事業所や相談窓口と連携しやすい体制を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の包括(城北・長尾川)と合同で開催。2部構成として、1回目は9/20にケアマネを対象に障害制度についての研修を実施。計54名参加。 ・2回目は10/18に障害の計画相談事業所も参加してもらい事例検討を予定。 | <ul style="list-style-type: none"> ・研修はケアマネや障害の事業所を対象に行っているが、障害者支援課も対象にしてはどうか。ケアマネとの顔の見える関係づくりが構築されるとマネジメントもしやすくなると思う。 | | |
| 3 | <p>③気軽に相談できる場所として包括周知を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を年4回作成し全戸配布している。開業医や薬局にも配布し相談にも繋がっている。 ・S型デイや地域行事に参加し包括周知を図っている。小学校や東部生涯学習センターのお祭り、地域のお祭りや敬老会等にも参加。小学校からも福祉教育の依頼も来ている。 ・民生委員不在地域に対し、アウトリーチを10月頃行う予定。行政に情報提供を依頼中。 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療機関等にも広報誌を配布しているが、協力が得られないところもある様子。圏域を越えて配布することも検討してはどうか。 | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（長尾川）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員: 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | | | 主任介護 支援専門員 | 0人 | 社会福祉士 | 3人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

| | | | | |
|---------------------|-------------------------------|----|-----------------|----------------------|
| 【地域ケア会議実施状況】 | ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 |
| | ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 1回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| | ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 1回 | | 回 |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|---|--|--|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | 認知症をテーマにした講座を開催し、地域での認知症の理解を深める | 西奈地区では令和7年1月、西奈南地区では令和6年11月に認知症施策にて認知症サポーター養成講座～グループワークをそれぞれ行うことが決まっている。内容については詳細については検討中。 | ・認知症サポーター養成講座は、人員不足の影響はあるが地域のサポートも得られている様子であるため、協力して取り組んでもらいたい。 | |
| 2 | 医療・介護の連携にて顔の見えるネットワークを開催し、顔の見える関係性構築を図る | 令和7年2月に開催を目途に動き出す予定。 | ・包括職員で主任ケアマネが不在であったため、重点項目等の事業の取り組みに不安を感じたが、地域の主任ケアマネと連携を図り、企画等にも協力が得られている。 ・人材が確保できる体制がないと職員が疲弊してしまう。地域の関係者と協力して事業に取り組んでおり、地域の人材発掘により影響もあるが、人材確保の課題も法人とともに解決していく必要がある。 | |
| 3 | 令和2年作成の地域資源マップの更新のために地域と連携し企画を行う | 地区社協レベルで地域資源マップ更新の話はしている。認知症施策での打合せの際にマップの件を盛り込みながら企画を行っていく予定。 | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|-------------------|----|--|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区美和地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員: 4人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 楽寿会 | | 主任介護 支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 1人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|---|-----------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 1回 | | 回 | |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 0回 | (第2回部会 開催時点) | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 0回 | | 回 | |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|--|---|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | <p>気軽に相談できる窓口としての機能を果たす</p> <p>4カ所のS型デイ、1カ所の健康交流会に定期的に訪問しセンターの周知活動、フレイル予防の啓発を行った。 圏域内の医療機関、金融機関、薬局に福祉の相談会のチラシ、その他必要な情報提供資料の配架を依頼し管理も行っている。7/3のみり大学で地域包括支援センターについて講演し、センターの役割や業務内容の説明を行った。</p> | <p>・町内会でも包括を知らない人もいたようだが、周知活動は十分に行われている印象を受ける。SNSを活用した周知も検討してはどうか。</p> | | |
| 2 | <p>医療介護連携のため既存のネットワークを活かし、地域の力を高める 1)地域ケア会議を開催し、地域課題を検討する。</p> <p>センター内で地域ケア会議の地区選定をした後、地域福祉CDIに相談し、地域関係者に相談し区長会議に参加する。センターが選定していた地区が町内会の一部であり地域関係者の選定が難しかったこと、区長会議で地域支援活動の説明したところ、区長(地区関係者)から支援の依頼がなく地域ケア会議開催に至らず、地域の現状把握のみを行った。</p> | <p>・地域ケア会議の開催について、町内会で取り組めており問題ないのであれば無理に開催しなくてもいいのではないか。地域の共助ができていないところ、できていないところを確認してからアプローチすると効果的だと思う。地区把握等、地道に取り組む必要もあると思う。</p> | | |
| 3 | <p>医療介護連携のため既存のネットワークを活かし、地域の力を高める 2)安倍口団地福祉の相談会を運営、実施する。</p> <p>6/4、8/6の2回実施済み。 今年度は、5回開催予定。 次回は10/11に開催予定。 継続的に開催し、長い目で開催することを目標にしている。支援者となる地域住民や地域関係者、福祉分野の従事者に相談会を知ってもらい、相談にきてもらう、あるいは該当者と一緒に相談にきてもらうような周知活動をしていく。</p> | <p>・相談会を継続的に開催していることで、相談者が少しでも気が楽になったり、周囲の人に勧めてもらえる。ぜひ、続けていただきたい。 ・包括職員が各職種一人ずつということで、各職員の能力が試され、多くの事業を開催する中で負担が大きくないか心配。</p> | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|---------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（賤機）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員：6人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 楽寿会 | | 主任介護 支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 2人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

| | | | | |
|---------------------|-------------------------------|----|---|-----------------|
| 【地域ケア会議実施状況】 | ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | 回 | |
| | ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 1回 | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| | ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 0回 | 回 | (第2回部会 開催時点) |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | | |
|-----------|--|---|--|----------------|--|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 | |
| 1 | 相談者の気持ちに寄り添い、地域の高齢者の地域の高齢者に関する様々な相談に対応する | <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源マップの作成 圏域主マネ会議で最終確認10/24 ・デスマップの作成 賤機圏域の通所事業所を一覧にまとめ圏域の居宅に配布。今後は他の地域に拡大していく ・「まるけあ賤機」の配布 小中学校、医療機関その他、関係機関等 | <ul style="list-style-type: none"> ・社会資源マップは必要性が高い。他の包括にも参考になると思う。デスマップも同様で、ケアマネ業務に活用できる。 ・広報誌の小中学校のメール配信については、子供たちに直接届かなくなるのは残念だが、親子で話すきっかけになる。学校にポスターを掲示する等、学校と調整しながら工夫していただきたい。 | | |
| 2 | 高齢者が住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう関係機関との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・井宮地区地域ケア会議12/11予定 井宮地域の自治会長の会議に出席し生活支援コーディネーターとともにケア会議開催協力依頼 ・昭府町夏祭り参加8/3 めだかすくい、「まるけあ賤機」配布 ・「車いす体験会」8/9「運動講座」7/25 北部生涯学習センターと協働 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域イベントである夏祭りでの広報誌の配布は、子育て世代、働き世代等、高齢者だけでなく幅広い年齢層の地域住民にアプローチでき、効果的に取り組んでいると思う。 ・車いす体験会では、実際に車いすを利用している人から話を聞くことができ、よい機会になったと思う。 | | |
| 3 | 円滑な高齢者支援等に向け、医療と介護の連携の強化を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・北部地域高齢者支援連絡会勉強会開催7/18(美和包括・安倍包括合同) 「在宅ケアにおける薬剤師の役割」について、対象：北部圏域ケアマネ ・賤機南地域ケア会議開催準備 医療、介護の専門職と地区社協と地域の未来を考える ・「お薬と介護の相談会」薬局とコラボ | | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|----------------------|----|---|----|-------|--------|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市 葵区（安倍）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員: 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | | | 主任介護 支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 1人(育休) | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

| | | | | | |
|--------------|-------------------------------|----|-----------------|---|-----------------|
| 【地域ケア会議実施状況】 | ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 1回 | | 回 | |
| | ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 2回 | (第2回部会 開催時点) | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| | ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 0回 | | 回 | |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|--|---|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関・地域の関係者と連携を図り、高齢者の状況や変化に応じたケアマネジメントの体制を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員が少ない中で広い山間地を支援するのは大変。そういった中で、民生委員や自治会と協力して、住民の緊急連絡先の確認しており、地域特性に沿って工夫しながら対応している。 | | |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の理解を深め、認知症高齢者への支援体制を整える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・早期アルツハイマー病治療薬が処方されるようになり、認知症初期の人を医療に繋げる重要性について、認知症サポーター養成講座等で周知してもらいたい。 | | |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センターの周知活動を継続し、介護予防、虐待、消費者被害の啓発を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお寺で講座開催について、地域にもともとあるコミュニティを活用するのはよい手段。他にもあると思うので、どんどん活用していただきたい。 | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|---------------------|----|---|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（服織）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員： 5 人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人駿河会 | | 主任介護 支援専門員 | 0人 | 社会福祉士 | 5人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

| | | | | |
|---------------------|-------------------------------|----|-----------------|----------------------|
| 【地域ケア会議実施状況】 | ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 |
| | ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 1回 | (第2回部会 開催時点) | 回 (第3回部会 開催時点) |
| | ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 3回 | | 回 |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | |
|-----------|---|---|----------|----------------|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 |
| 1 | ①地域リハビリテーションの考えを広める。(自宅ですっとミーティング) 11/22開催に向け、実行委員会を立ち上げ計画中。デイサービスとリハビリ専門職による地域リハビリに関する発表を予定している。 | ・日常生活動作がリハビリに繋がるという考え方が理解できた。社会資源を活かして医療・介護と地域とを繋げていく事業であると思う。地域特性もあるため、推進していただきたい。 | | |
| 2 | ②認知症支援に携わる関係機関の連携を図る場を設ける。 7/18 第1回グループホーム連絡会開催。圏域内3か所、薬科包括圏域1か所のグループホームが参加。 第2回を2月に開催予定。 グループホームから「ふれあいカフェはとり」の提案があり、認知症の相談対応に協力することになった。(9～3月まで月1回開催) 他のグループホームが協力参加予定。 | | | |
| 3 | ③障害分野と連携し、個別の相談支援に対応する。(障がい福祉相談会) 5/9 第1回障がい福祉相談会、9/12 第2回に参加。 障害に関する相談はあったが、高齢者に関する相談はなかった。 障害分野に関係する総合相談に連携の機会として活かしていく予定。 | ・高齢者の参加はなかったが、今後はケアマネや施設職員等へも周知することとで、取り組んでいただきたい。 | | |

令和6年度 葵区地域包括支援センター運営部会

| | | | | | | | | | |
|------|---------------------|----|--|----|-------|----|-------------|----|-----|
| 事業所名 | 静岡市葵区（薬科）地域包括支援センター | 職員 | 配置人数(定員： 3人)(9/1現在) ※定員・・・本来の配置基準で必要とされる人数 | | | | | | |
| 法人名 | 社会福祉法人駿河会 | | 主任介護支援専門員 | 1人 | 社会福祉士 | 1人 | 保健師 看護師等 | 1人 | その他 |

テーマ： 地域におけるネットワークの活用に関する地域包括支援センターの取り組みとその結果、今後の課題

『住み慣れた地域で生きがいを持ち、自分らしく暮らすことができるよう地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現すること』を目指し、これまで地域包括支援センターが築いてきたネットワークを活用し、「地域ケア会議」等を開催していく。「地域ケア会議」等の開催を通じ、介護支援専門員や地域住民とのネットワークを活かした個別ケース課題の解決を目指すとともに、個別ケース課題の解決を出発点とした地域課題の把握、地域での課題解決、あるいは地域では解決困難な課題等を集約していく。

【地域ケア会議実施状況】

| | | | | |
|-------------------------------|----|-----------------|---|-----------------|
| ①自立支援プラン型地域ケア個別会議 | 2回 | | 回 | |
| ②ケース対応型地域ケア個別会議 | 0回 | (第2回部会 開催時点) | 回 | (第3回部会 開催時点) |
| ③地域ネットワーク形成等(①・②以外)にかかる地域ケア会議 | 3回 | | 回 | |

| (第2回運営部会) | | (第3回運営部会) | | | |
|-----------|--|---|---|----------------|--|
| 令和6年度重点項目 | 進捗状況・課題(第2回部会時点) | 委員意見 | 事業実績(最終) | 良かった点、課題、次年度展望 | |
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護の専門職との連携強化を図る | <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の医療機関の医師や看護師と介護支援専門員との意見交換を10月までに5回行った。 ・自宅でずっとミーティングについて認知症について行う予定、細かい内容や日程や参加者については検討中。 | <ul style="list-style-type: none"> ・山間地という地域特性上、整形外科に理解・参加してもらうことは意義が大きいと思う。 | | |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気なうちから介護予防の必要性を伝える | <ul style="list-style-type: none"> ・7ヶ所のS型デイサービスに参加、元気なうちから介護予防を行う必要性を伝えた。 ・中薬科地区の民生委員に対して、元気なうちから介護予防の必要性について伝えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気に過ごせている高齢者に対し、「要介護状態にならないように」ではなく、「元気を継続するために」と前向きになるような声掛けが大切だと思う。介護予防に取り組む利点等をうまく伝えられるとよい。 ・健康寿命を延ばすことは大切なこと。引きこもりやS型デイサービス等に行けない高齢者にどのようにアプローチするか、地域の支援者と話し合っていく必要がある。 | | |
| 3 | | | | | |